

経営方針

徳島県立しらさぎ中学校
校長 大住 満寿夫

《スローガン》

一隅を照らす人たれ

一人一人が、それぞれの場所や役割で全力を尽くすことによって、努力している姿をまわりが認め、日本中、そして世界中の人たちを動かす原動力となって欲しい。

《教育目標》

【めざす学校像】

- ①学び直しの拠点校として、多様な学習機会を提供できる学校
- ②年齢や国籍などに関係なく、自らの可能性を広げることができる学校
- ③生徒の夢と希望を実現させることができる学校
- ④偏見や差別をなくし、自他の生命、人権が尊重できる学校

【めざす生徒像】

- ①「まなび」を通して自らを高めることができる生徒
- ②自分の夢や目標達成のため向上心を持って新しいことにチャレンジできる生徒
- ③国際理解、人権尊重、他者に対して優しさや思いやりが持てる心豊かな生徒

【めざす教師像】

- ①生徒の学ぶ意欲を大切に、生徒ファーストで考えることができる教師
- ②積極的に生徒一人一人と関わりを持ちながら、その生徒の良さを見つけ・認め・励まし・伸ばす指導ができる教師
- ③教える「プロ」としての誇りと自覚をもち、人間力・授業力・生徒理解力・危機管理能力等、自らの資質・能力の向上に研鑽する教師
- ④電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を活用した授業研究などの研修を積む教師

《今年度の重点目標》

- (1) 生徒の基礎学力向上に努めるとともに、様々な体験活動を充実する。
- (2) 幅広い年齢層と様々な国籍を有する生徒の特色を生かした教育活動を推進する。
- (3) 近隣の学校との交流活動を深め、生徒相互で学び合う関係を充実する。

【学校の教育目標を達成するための主な方策】

1 生徒ニーズに応える特色ある教育活動

- (1) 個々のニーズや学力に応じた授業（少人数学習・個別指導・補充学習）の充実
- (2) 外国籍の方への日本語教育を行う「ベーシックコース」の充実
- (3) 「遊山箱づくり」、「藍染め」、「徳島の食調理」、「阿波踊り」、「歩き遍路」などのものづくりや体験活動の充実
- (4) 生活に密着した「消費者教育」「防災教育」「キャリア教育」の充実
- (5) ICT機器を積極的に活用した「楽しい」「わかる」「できる」が実感できる授業の充実
- (6) 徳島中央高校を始め、他校との交流・連携を図ることで「つながる」が実感できる交流の充実

2 豊かな心の育成を図る

- (1) 全教職員が、生徒一人一人に寄り添いながら関わり、生徒の言葉に心から耳を傾け、認めて、受け止めて、時間をかけて生徒との信頼関係づくりに努める
- (2) 個人面談や教育相談などを積極的に行い、生徒理解の深化に努める